

平成29年度 青森大学教員免許状更新講習 シラバス

講習の名称	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の設計に向けて				
必修・選択区分	選択領域	講習時間数	6時間	受講予定人数	30人
対象職種	教諭・養護教諭	開設日	平成29年7月26日(水)		
主な受講対象者	小・中・高等学校教諭、養護教諭				
担当教員	鈴木康弘(社会学部教授)、久慈きみ代(社会学部教授)、佐藤豊(社会学部教授)				
講習内容	<p>「アクティブ・ラーニング」の視点に立った学びの推進によって、学力の3要素に沿った教育実践が加速すると期待されています。その一方で、教員が授業にアクティブ・ラーニングを取り入れて学習成果を向上させるためには、これまで以上に児童・生徒の学習意欲を把握し、動機づけを高める教授方法を修得することが不可欠です。この講習では、教員が授業をアクティブ・ラーニング化するための理論や実践例を理解し、重要なポイントを整理できることをねらっています。</p> <p>1. 「アクティブ・ラーニングで育つ諸能力その評価方法」では、アクティブ・ラーニングの教授学習プロセスの特徴、アクティブ・ラーニングで伸びる諸能力とそれら进行评估する適切な方法について、教育学及び教育心理学の理論をもとに理解を深めます。</p> <p>2. 「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践の検討」では、いくつかの実践報告をもとに、参加者がグループワークを行い、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行うためのポイントを具体的に検討し、理解を深めます。</p> <p>3. 「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の設計」では、参加者グループごとに、テーマを設けて、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の内容、生徒の活動、評価方法等を設計して、プレゼンテーションを行い、実践的な知識の定着を図ります。</p>				
到達目標	<p>1. アクティブ・ラーニングで育成する能力について理論的に説明することができる。</p> <p>2. ルーブリック、ポートフォリオ、パフォーマンスによるアクティブ・ラーニングの評価について説明することができる。</p> <p>3. アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を設計するためのポイントを説明することができる。</p>				
講習方法等	<p>【講義・演習】</p> <p>4つのセクションに分けて、講義による解説又は演習を行う。講義は主にプロジェクターを使用して進め、必要に応じてプリントを配布する。演習は主にグループワークを実施し、体験学習する。</p> <p>①アクティブ・ラーニングで育つ諸能力その評価方法(講義)</p> <p>②アクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践の検討(1)(演習)</p> <p>③アクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践の検討(2)(演習)</p> <p>④アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の設計(演習)</p>				
時間割	<p>(時間)</p> <p>9:00 ~ 9:20 受付</p> <p>9:20 ~ 9:30 オリエンテーション</p> <p>9:30 ~ 12:30 講習(午前)</p> <p>12:30 ~ 13:30 昼食・休憩</p> <p>13:30 ~ 16:00 講習(午後)</p> <p>16:00 ~ 16:30 試験</p> <p>16:30 ~ 16:45 評価書記入</p> <p>※適宜休憩を設けます。</p>				
修了認定の方法	筆記試験				
成績評価の方法・基準等	成績評価は、グループワークやプレゼンテーションにおけるパフォーマンス評価と筆記試験の合計得点を算出し、60点以上を合格とします。				
教材等	プリントを配布します。また、講義において参考書などを紹介します。				
認定番号	平29-30026-506782号				
その他					